

## 原子力安全部会「福島第一原子力発電所事故に関するセミナー第3回」開催案内

原子力安全部会は、平成20年8月、「原子力安全に関連した研究者間の交流と情報交換を積極的に行い、また、研究活動を支援するとともに、原子力安全に関係する事項について情報を発信し、原子力利用における安全確保とそれに関する理解の促進に貢献することを目的」として設立され、その後、安全に関する議論を行う場を提供する観点から、特にシビアアクシデント対処設計の考え方などをテーマとして講演会やセミナーを開催してまいりました。

この活動の一環として、本年2月17日「福島第一原子力発電所事故に関するセミナー」（第1回）、5月8日に同セミナー（第2回）を開催し、それぞれ100名以上の参加者を得て、福島事故の概要とそこから得られる教訓について活発な議論が行われました。

原子力安全部会は、引き続き「福島第一原子力発電所事故に関するセミナー」（第3回）を以下のように開催いたします。

日時：6月26日（火）13:30から17:00まで

（30分程度の延長もあり得ます。）

場所：東大本郷・工学部11号館講堂（130人収容）

テーマ：①福島第一原子力発電所2号機及び3号機の原子炉に係る問題

②計測制御系の改善に向けた課題（仮）

上記について報告を受け「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論を行います。

本セミナーシリーズの趣旨、第3回セミナーへの申込み、今後の予定は以下の通りです。

### 1. セミナーシリーズの趣旨

- ・ 福島事故に関し、「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論する。原子力学会はわが国のアカデミアを構成する組織であることを踏まえ、学会としてあるいは原子力安全部会として何をすべきかの観点を重視する。
- ・ 原子力は多くの技術の総合であり、福島事故を含め、事故は技術分野の隙間で起きることが多い。本セミナーの目的は、事故そのものの解説ではなく、事故によって示された課題を踏まえて今後より安全な原子力を確立していくために、技術分野間あるいは産官学間の相互理解を進めることを目的とする。<sup>(※)</sup>
- ・ 上記の趣旨をご理解いただいた上で、当日の対象テーマに係る問題で、あらかじめ確認したい事項を事前に連絡先に連絡いただければ、報告において最大限配慮いたします。また、セミナー当日は休憩を長めに取り、報告内容に関して関係者に個別に質問できる時間を設けますので、ぜひご活用ください。

4回以降のセミナーで取り上げるテーマや運営のあり方に関する意見については、セミ

ナー終了後でも、ご連絡いただければ、併せて検討してまいります。

(※) 福島第一原子力発電所の事故については、既に政府報告書（第1報、第2報）や事故調査委員会・中間報告書が出ています。また、原子力学会でも様々な活動や報告がなされています。

## 2. 第3回参加申し込み

下記へE-mailにて申し込みください。

E-mail : [nsrc-seminar01@jaea.go.jp](mailto:nsrc-seminar01@jaea.go.jp)

申し込み多数の場合は、次のようにさせていただきます。

- 申し込みの第一次締切日を6月14日17時とします。
- 第一次締切日にて応募が定員（約100名）を超えた場合は、  
①安全部会会員、②原子力学会会員、③その他 の順で優先させていただきます。①及び②のグループ内での優先順位は先着順とします。
- 第一次締め切り日以後は区別なく先着順とします。
- 申し込みは以下の事項をメール本文に記載して送付ください。
  - ・氏名 :
  - ・会員分類（以下の番号を記載） :  
（1＝原子力安全部会部会員、2＝原子力学会会員  
（原子力安全部会以外）、3＝原子力学会会員以外）
  - ・所属 :
  - ・電子メールアドレス :
  - ・原子力学会会員番号(会員の場合) :

## 3. 第3回プログラム(詳細を追って原子力安全部会ホームページに掲載します)

## 4. 連絡先

(独)日本原子力研究開発機構

安全研究センター

担当 : 工藤

E-mail : [nsrc-seminar01@jaea.go.jp](mailto:nsrc-seminar01@jaea.go.jp)

## 5. セミナーの今後のテーマ予定

セミナーシリーズでは、第1回セミナーに引き続き、次の論点に注目します。

- ・ 外的事象に対する安全確保策のあり方
- ・ シビアアクシデントまで対象とした場合の安全設計のあり方

(フェイルセーフ、計測等を含む)

- ・シビアアクシデントが起きてしまった後の対策
- ・使用済み燃料プールの安全確保 (DBA、AM を含む)
- ・防災のあり方
- ・シビアアクシデント時のコミュニケーション  
(SPDS、放射線モニタリングを含む)

これらの議論を具体性をもって進めるために、各回のセミナーでは、以下の課題について議論します。(前回ご案内した内容から一部追加し、開催回数が増えています)

- ・第2回：福島第1原子力発電所1号機の原子炉に係わる問題 (終了)
- ・第3回：同2,3号機の原子炉に係わる問題 (6/26)
- ・第4回：同4号機のSFPとシビアアクシデント対策全般についての中間とりまとめ  
(日時：8/10 予定 場所：東大本郷・工学部11号館講堂)
- ・第5回：防災に係わる問題 (当初第4回セミナーのテーマとしておりましたが、第5回で取り上げることとしました。)  
(日時：8/20 予定 場所：東大本郷・工学部11号館講堂)

<・原子力学会秋の総会(9月)： 第1回～5回のセミナーのまとめを報告予定>

- ・第6回：福島第2、女川、東海第2原子力発電所に係わる問題  
(日時、場所：未定 2回のセミナーに分けることも検討中です)

#### 6. セミナーに関する今後のご連絡

セミナーの開催案内は、今後下記 URL の原子力安全部会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご参照ください。

<http://www.aesj.or.jp/~safety/>

以上